



## にじいろ通信 No.30

発行:社会福祉法人健翔会 にじいろ  
 所在:埼玉県行田市忍 1-11-1  
 TEL:048-598-5252 FAX:048-501-6031  
 責任者:にじいろ管理者 齋藤真知子  
 MAIL:nijiiro@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、通学している障害児に対し放課後等に日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

### 夏の思い出がたくさんできています。

にじいろのご利用について 定員10名 早めに声を掛けてください！

「思いを伝える難しさ、受け取る難しさ」

児童発達支援管理責任者 齋藤真知子

健翔会では毎年職員研修を行います。研修は渡辺マネジャー主導の講義で、法律や制度の勉強から体験型の研修まで幅広い内容です。今回の研修の一つに「書いた絵を相手に言葉で伝えるゲーム」がありました。聞いている人はその絵を書かなければなりません。はじめは受けて側に挑戦。形は伝わってきたのですが、絵は紙のどの位置なのかわかりません。伝える人の情報を最後まで聞くことが重要だという事がよくわかりました。私が伝える絵はドラえもんです。「大好きなキャラクターで夢をかなえてくれる」と言ったら、すぐに皆が分かったようでした。しかし、どこを向いてい



8/9 健翔会水遊び大会を行いました。総勢100名が麦の穂に集合。子どもたちだけでなく職員も全身びしょりになり楽しみました。

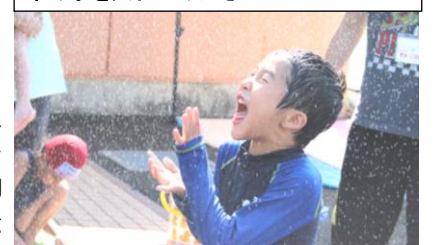


レクで「風船をつなげて遊ぼう」を行いました。自分たちが膨らませた風船をつなげて、空気を送ってクルクル回る様子を楽しみました。空気のかってすごいです！！

どのくらいの大きさか？目や口はどうなっているのかを伝えるのに苦労したのです。20名中で近かった人は2人だけでした。皆、ドラえもんを知っていたのに正確に伝わりませんでした。知らないキャラクターだったら形や色しか伝えられません。受け手は想像することも難しいでしょう。伝える側受け手側の知識や情報の違いで大分違ってくるものだと感じました。やはり物事を伝える時には言葉だけでなく、絵カードやピクト、ジェスチャーが有効だと良くわかりました。また、伝えたいことがあるんだろうな～と感じる時には最後まで分かってあげようとする努力を惜しまないことだと痛感しました。興味がないそぶりで話を聞かれても、伝える側のモチベーションは保てません。当たり前ですがしっかり体を向けて話を聞く姿勢が必要です。来年もたくさんの気づきを経験できる研修の報告をします。



プールの水が少なくなりました。早く水を入れてください！



「雨が降ってきたあ」と屋上からの放水を喜ぶ子供たち。もっと降らせて～



水鉄砲に、風船爆弾を持って、怖いものなんかないぞと大はしゃぎです。



理科実験でラムネ菓子づくりに挑戦しました。きちんと分量を量って、色を付けて丸めて乾して出来上がりました。青やピンクのラムネができました。酸っぱい美味しい

★9月のにじいろ 6日：レク「新聞紙ダーツ」14日：行田特別支援学校秋祭り 16日：秋の遠足「群馬こども国で遊ぼう」21日：土曜くらぶ BBQ 大会 23日：理科実験「水中シャボン玉を作ろう」28日：にじいろ座談会第2弾

★にじいろで欲しいもの 知育玩具 プール タブレット プラレール ぶら下がり健康器

★ありがとうございました 手島様、川村様、福島様、中野様、横田様、吉野様、山田様：お菓子 平井様：ジュース 永沼様：おもちゃ絵本 渡辺様：梨 大島様、細井様：プラレールおもちゃ